

平成22年度予算の概要

平成22年度予算では、第5次総合計画で目指す将来像「住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら」の実現に向け、元気で住みよい竹原市づくりを推進するとともに、健全な財政運営、経済雇用対策に引き続き取り組んでいきます。

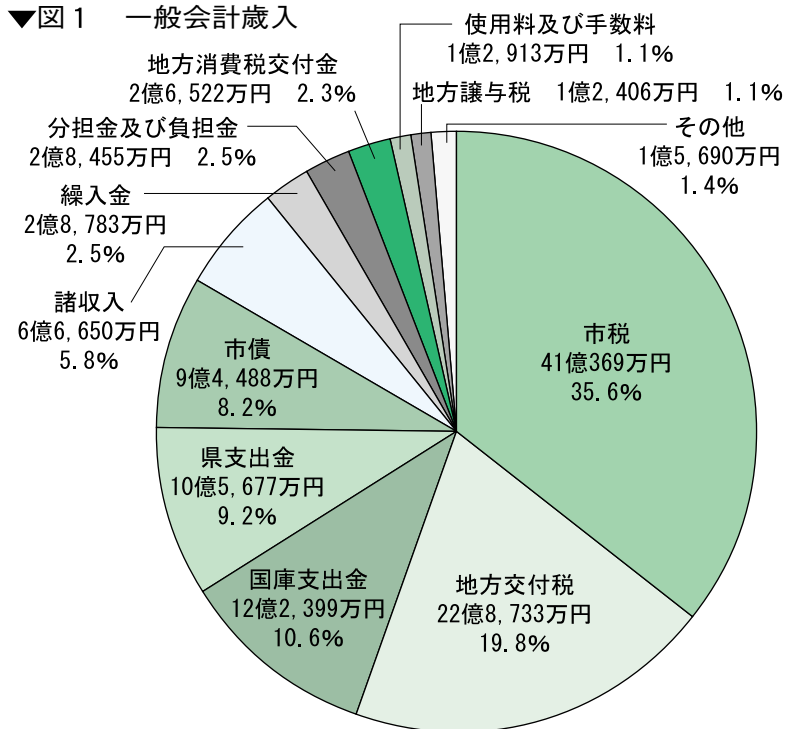
一般会計予算

平成22年度の一般会計予算額は、115億3,084万円、前年度と比較して1億166万円（0.9%）減少しました。（表1）

▼表1 会計別予算額

会計区分	平成22年度	平成21年度	増減
一般会計	115億3,084万円	116億3,251万円	△0.9%
特別会計	76億9,903万円	193億6,162万円	△0.7%
国民健康保険	35億8,090万円	35億8,591万円	△0.1%
貸付資金	1,461万円	1,501万円	△2.7%
老人保健	73万円	1,291万円	△94.3%
港湾事業	4,552万円	5,517万円	△17.5%
公共下水道事業	4億9,556万円	6億5,708万円	△24.6%
公共用地先行取得事業	1千円	1千円	0%
介護保険	30億9,295万円	30億2,013万円	2.4%
後期高齢者医療	4億6,876万円	3億8,290万円	22.4%
水道事業会計	10億9,435万円	11億437万円	△0.9%
合計	203億2,422万円	204億6,598万円	△0.7%

▼図1 一般会計歳入



一般会計歳入

一般会計歳入の款別の状況は、図1のとおりです。市税は、所得の減少等を見

校給食センターや道の駅の建設などの大規模な建設事業が集中したことによるもので、これらを除くと、子ども手当や新規・拡充事業の実施などにより7億3,797万円増加しています。

込み、2,370万円の減少を見込みました。地方交付税は、標準的な財政収支の不足を補うため国が交付するもので、税収が減少する一方で、社会保障関連経費が増加することから、8,788万円の増加を見込みました。国庫支出金については、子ども手当の開始などにより、1億8,492万円の増加を見込みました。

▼表2 歳入の前年度比較

項目	平成22年度	平成21年度	増減額	増減率
市税	41億369万円	41億2,738万円	△2,369万円	△0.6%
地方交付税	22億8,733万円	21億9,945万円	8,788万円	4.0%
国庫支出金	12億2,399万円	10億3,907万円	1億8,492万円	17.8%
県支出金	10億5,677万円	8億6,302万円	1億9,375万円	22.5%
市債	9億4,488万円	11億6,207万円	△2億1,719万円	△18.7%

県支出金は、雇用対策等の実施により、1億9,375万円の増加を見込みました。市債については、大規模な建設事業の減により、2億1,719万円減少しています。

市民一人当たりの一般会計予算38万8,950円は次のように使われます。

▼表3 一人当たりの一般会計予算

項目	主な業務等の内容	金額
民生費	高齢者・障害者等の福祉、医療の充実、保育所の運営など	14万4,377円
総務費	庁舎・市民館の管理運営、広報、統計、税務、戸籍事務など	4万8,412円
土木費	道路・港湾・公園・市営住宅等の維持整備、区画整理事業など	4万5,471円
公債費	借入金の返済元金及び利子	3万5,040円
教育費	幼稚園・小中学校、公民館、図書館、体育施設等の運営整備など	3万2,955円
衛生費	検診、予防接種、環境保全、ごみの収集・処理など	2万8,792円
消防費	消防・救急の運営委託、消防団、自主防災組織の運営など	1万7,608円
商工費	商工業の振興、観光宣伝、観光施設の整備、消費者相談など	1万5,702円
農林水産業費	農地・漁港・森林等の整備、農林水産業の振興など	8,411円
労働費	勤労青少年ホームの運営、労働者福祉、雇用対策事業など	6,795円
議会費	市議会の運営など	4,870円
予備費	予算外または予算超過の支出に備えるもの	337円

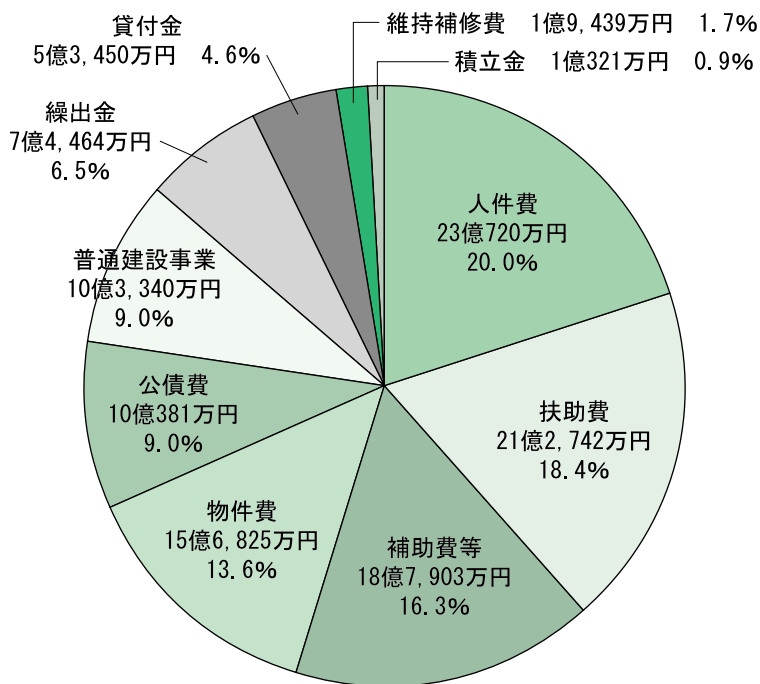
(平成22年2月28日現在の住民基本台帳人口29,646人から算出)

一般会計歳出

一般会計歳出の性質別の状況は、図2のとおりです。人件費は、職員数の減少などにより385万円の減少を見込んでいます。

扶助費については、子ども手当の開始などにより、3億8,784万円増加しました。補助費等については、後期高齢者医療制度の療養給付負担金の増などにより、1億4,397万円増加しました。

▼図2 一般会計歳出



397万円増加しました。物件費は、雇用対策事業の委託料の増などにより、2億2,960万円増加を見込んでいます。

普通建設事業費については、道の駅建設事業及び学校給食センター整備事業など大規模な建設事業の完了等により、8億3,964万円の減少となりました。

▼表4 歳出の前年度比較

項目	平成22年度	平成21年度	増減額	増減率
人件費	23億720万円	23億1,105万円	△385万円	△0.2%
扶助費	21億2,742万円	17億3,958万円	3億8,784万円	22.3%
補助費等	18億7,903万円	17億3,506万円	1億4,397万円	8.3%
物件費	15億6,825万円	13億3,865万円	2億2,960万円	17.2%
普通建設事業費	10億3,340万円	18億7,303万円	△8億3,963万円	△44.8%



平成22年度当初予算の概要は、竹原市ホームページにも掲載しています。

平成22年度予算の主な新規・拡充事業

「住みよさ実感」の基礎固めを強化する中、「暮らしの質の向上」や「交流人口の拡大」の観点から、特に集中して取り組むべき、少子高齢化対策、環境対策、産業振興対策の各分野に重点的な配分を行いました。

人づくり

まちづくりの基本を「人づくり」とし、人が人を育てる環境の充実を目指します。

次代を担う人づくり
6,781万円

■保育料負担軽減事業

多子家庭の保育における経済負担を軽減するため、第三子以降で3歳未満の園児に係る保育料を無料化します。

727万円

■赤ちゃんの駅設置事業

子育て中の母親が、安心して

に補助金を交付します。
100万円

■学校緑化推進事業

子どもの環境に対する関心の向上を図るため、市内全幼稚園、小・中学校で、壁面緑化・ガーデンング・芝生化など学校独自に緑化に取り組み、その結果を子ども文化祭で発表します。

86万円

■乳幼児医療費支給事業

子どもに係る医療費負担の軽減を行い、子育て支援の充実を図るため、現在の乳幼児医療費助成制度の対象を入院・通院ともに小学校6年生までに拡充します。

4,832万円

■ファミリースポーツセンター利用促進事業

安心して子育てできる環境の充実を図るため、ファミリースポーツセンターの1時間あたりの利用料600円のうち半額を助成します。

353万円

生きがいのあるまちづくり
104万円

■生涯学習人づくり事業

公民館で地域住民の学習機会の提供に加えて、地域コミュニティが抱える課題解決に向けた新たな取り組みを実施し、住民力を育てるため、地域課題の解決に重点を置いた新たな講座を開設します。

33万円

■新1年生ブックスタート事業

子どもの読書に対する興味を高め、持続的な読書習慣により知力や思考力を育んでいくため、小学校入学時に本を1冊プレゼントするとともに、読書カードを配布します。

21万円

■公共施設芝生化事業

幼稚園の園庭を芝生化し、園児が思い切り遊べる環境を整備するとともに、憩いと安らぎのある空間を創出するため、市内街区公園のうち、2か所の公園を芝生化します。

50万円

個性づくり

自然、歴史文化、産業・技術・人材など今ある資源を活かした「竹原らしさ」を高め、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現をめざします。

環境にやさしいまちづくり
4,443万円

■街路灯LED化事業

市が管理する街路灯を省エネ効果の高いLED灯に改修し、地球温暖化の原因と言われている二酸化炭素排出量の抑制を図ります。

1,300万円

■小型合併浄化槽設置整備事業

水質の環境保全につなげるため、汲み取り式トイレや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に設置替える人、また、下水道未整備地域で合併処理浄化槽を設置する人に補助金を交付します。

2,653万円

■太陽光発電システム等設置費補助事業

地球温暖化対策の着実な推進と市民の環境保全に対する意識の高揚を図るため、太陽光発電システムの設置に合わせて、家屋の省エネ設備の整備（LED照明器具や被層ガラス等）をする人に、補助金を交付します。

490万円

安心して暮らせる
住みよいまちづくり

3,485万円

■介護基盤緊急整備事業

介護が必要となった高齢者が、住みなれた地域で安心して生活できる環境整備を図るため、小規模多機能型居宅介護事業所の整備を行う法人に補助金を交付します。

3,165万円

■多目的トイレ設置事業

障害のある方や高齢者などがスポーツ競技に気楽に楽しめるよう、バンブー体育館内

のトイレを多目的トイレに改修します。

320万円

安全で快適なまちづくり

990万円

■地域公共交通活性化対策事業

高齢者の移動手段の確保や、分散している観光拠点をつなぐ交通機関の整備などを目的とした地域公共交通の充実を検討するため、市街地を循環するバスの実証運行を行い、路線バスなどの既存の公共交通機関の連携強化を図ります。

740万円

■地域防災ネットワーク推進事業

災害有事の際に地域と行政機関それぞれの役割に応じた適切な対応ができるよう備えるため、自主防災組織設立の促進や防災士資格取得の支援を行います。

250万円

人が集まる元気なまちづくり

9,072万円

■道の駅関連整備事業

「道の駅たけはら」のオープンに合わせ、地域情報及び観光情報の発信基地として活用し、まちの活性化を図るため、オーピングセレモニーの開催、観光パンフレットの刷新、幅広いPR活動及び備品整備等を行います。

4,167万円

■歴史的地区歩行者案内サイン整備事業

「道の駅たけはら」を町並み保存地区の玄関口として活用し交流人口の増加を図るため、町並み保存地区周辺への案内サインを整備します。

2,448万円

■BUYたけはら運動推進事業

地域活性化・生活対策として、消費者の支援及び市場における消費拡大を促進するため、プレミアムつき商品券を発行する際のプレミアム分を補助金として交付します。

■企業誘致体制強化事業

新たな企業誘致を成功させることで市の産業を活性化し、雇用の場を確保することによって、定住促進につなげるため、企業誘致に必要なノウハウやパイプを持つ人材を雇用し、企業誘致体制を強化します。

671万円

■ホームページ更新事業

竹原市の持つ魅力などを積極的に売り出すとともに、開かれた市役所づくりを推進するため、閲覧者が必要とする情報を簡単に取得できるように、分かりやすいホームページに更新します。

500万円

■商店街等活力向上事業

既存商店街の活力を向上させ、個性的で魅力的な商店街づくりを促進し、商業の振興を図るため、商店街にある空き店舗の一部を店舗開業希望者に賃貸する「チャレンジショップ事業」に、補助金を交付します。

■住民交流支援事業

独身男女の出会いの場の創出や地域の活性化、まちづくりへの参加意識を持った若い人材の育成を目的として、住民活動団体が企画・実施する、いわゆる婚活事業に補助金を交付します。

51万円

■朝市支援活性化事業

地産地消の推進と、食の安全・安心の確保のため、竹原産の農林水産物の生産者で構成される朝市などの団体が、販売活動の活性化を図る取組みに補助金を交付します。

35万円

